

2024 年度事業計画書

当工業界が属する鉄鋼業界を取り巻く内外情勢は、2024 年度も予断を許さない状況です。国内においては不適正ヤード問題や物流 2024 年問題、海外においては中国の過剰生産が東アジアに与える影響やカーボンニュートラル実現に向けた各国の動向等が挙げられます。

このような状況の下、日本鉄リサイクル工業会は、2022 年度より取り組む方向性を下記の通り大きく 4 つに整理したうえで、それぞれにつき、具体的かつ積極的な活動を展開して参りました。

- I. 全国 7 支部 8 委員会を通じて会員企業の現状と抱えている課題の把握
- II. 課題解決に向けた方策の検討と対応策の実施
- III. 鉄スクラップの国内循環促進についての行政や関連団体との議論・協議
- IV. 鉄リサイクル業の社会的認知度の向上に向けた各種情報発信

2024 年度につきましても、上記の方向性を堅持しつつ、チャレンジ精神を忘れずに以下の取り組みを着実に実行して参ります。

I. 会員企業の現状と抱えている課題の把握

「委員会、支部、部会の各種活動の活性化と連携強化」

当工業会が直面する諸課題についてタイムリーに把握・集約し、会員の意見等を十分に踏まえた的確な対応を図るために、運営委員会を年 4 回開催するとともに会員各社とのコミュニケーションの強化を図り、課題解決に向けて迅速な対応を行います。

また、支部・部会においても、定例のイベントに加え、独自の講演会・勉強会・研修会の開催を検討し、製鉄メーカーの賛助会員を交えて連携強化を図る所存です。 【本部他】

II. 課題解決に向けた方策の検討と対応策の実施

(1)「適正ヤード推進の強化に向けた関係機関等への働きかけ」

2023 年度に特別委員会として新たに設置した「適正ヤード推進委員会」にて、各支部の委員を通し不適正ヤードの現状把握等に継続して努めることとし、公平な事業環境の確立に向け意見交換を図ることとします。

加えて、当工業会を管掌する経済産業省 製造産業局 金属課に継続して協力を要請し、警察庁、環境省、国土交通省等、各種法令を所管する関係省庁・諸機関に対しても、不適正ヤード事業者に対する法令遵守の指導や違反の取締りを強化していただくよう、継続して働きかけを行います。

さらには、鉄スクラップが不適正事業者に流出することがないように、関係の業界団体等にも継続して働きかけを行うこととします。

【適正ヤード推進委員会】

(2)「会員各社への CO₂ 削減施策の提案及び有識者による定例講演会の開催」

産業界全体で 2050 年カーボンニュートラル実現に向けての動きが本格化する中、鉄リサイクル業においても脱炭素に向けて取り組む必要性が高まっております。

こうした中、2024 年度は、2023 年度に専門機関の協力も得ながら取り纏めを行った当業界に共通する省エネや再エネ施策をベースに、会員各社が取り組める具体的な CO₂ 削減施策等を盛り込んだガイドブックを制作・配布いたします。

また一般（学生等）を対象とした鉄リサイクル業、鉄スクラップの環境価値等の理解促進を図る環境 PR のためのコンテンツの制作に向けてリサーチを開始いたします。

定例事業として、有識者を講師として招き、資源リサイクル・地球環境保全分野における新たな施策及び内外情勢等に関する講演会を開催します。

【環境委員会】

(3)「高度な自動車リサイクルの実施：マテリアルリサイクルの促進」

自動車リサイクル法に関し、自動車リサイクルの中核を担う業界の立場から、合理的・効率的なリサイクルが実施され、「3Rの推進」及び「リサイクルの質の向上」を達成できるよう、関係各機関と協議します。特に、現在進行している資源回収インセンティブ制度に関し積極的に提言すると同時に、会員破砕業者への情報提供に努めます。

【自動車リサイクル法委員会】

(4)「鉄スクラップの品質向上等に向けた取り組み」

ダストや非鉄混入等の製鋼用スクラップの品質問題に関する各支部での取り組みや、リチウムイオン電池等に起因した火災事故防止策等に関して、

意見交換や情報共有を進めるとともに、日本産鉄スクラップの国際競争力強化等についても議論を行っていきます。

加えて、2023 年末に新たに発足した経産省の「サーキュラーパートナーズ」会合に日本鉄鋼連盟の連携団体として普通鋼電炉工業会、特殊鋼倶楽部と共に参画し、鉄スクラップの品質向上等に向けた取り組みや新たな技術開発に対する補助金等の公的支援実現に向けた働きかけを行うこととします。 【本部他】

(5)「労働安全衛生の強化、徹底に向けた取り組み」

高齢者や経験年数の浅い作業従事者による事故が依然として減少しないことに鑑み、安全水準の向上に向けた取り組みとして、通常の業務活動の中に潜むあらゆる危険の芽を事前に摘むための労働安全衛生講習の動画配信や、作業現場等で身近に潜む危険を実際に肌で感じ、職場での安全意識を高めるための「危険体験学習会」の開催を計画し、労働災害撲滅に向けた活動を継続します。

加えて 2024 年度は、安全対策に係る好事例実績の動画を制作し、会員各社の安全対策の参考に資する活動を行います。

また、業界固有の労働災害事例調査を引き続き実施し、その傾向や要因の分析を行うとともに、会員各社が労働安全活動の一助として活用できるよう、情報共有を図ります。

更に、会員の労働安全衛生活動の支援策として、安全ポスターの制作・配布、中央労働災害防止協会等で行われる労働安全事業についての情報提供を継続します。加えて、普通鋼電炉工業会の協力を得て、過積載防止ポスターを制作し、会員各社への啓発と注意喚起に努めます。

災害共済会保険（施設賠償責任保険及び労働災害総合保険等）については、その内容を検討し会員各社に紹介します。 【業務対策委員会】

(6)「港湾整備等の促進に向けた取組み」

世界的なカーボンニュートラルの流れにより、鉄スクラップの需要増が見込まれる中で、国内では人口減少やドライバー不足問題が顕著化してきており、港を活用した荷役に注目し情報収集・議論を行います。

また、引続き国土交通省が主管する「リサイクルポート推進協議会」内に設置されている「国際資源循環部会」での議論を中心に、鉄スクラップ船積港の整備及び複数港積みを含めた港の有効活用について議論・進言していきます。 【港湾委員会】

(7)「国内外の鉄スクラップの流通に係る課題解決に向けた取り組み」

鉄スクラップの国内流通や輸出に係る全般的な情報を収集・発信することで会員企業の事業活動を支援します。国内流通にかかわる諸課題（物流の2024年問題等）を取り上げ、業界がより良い方向に向かうべく支援します。
【商社流通委員会】

(8)「人材確保等、雇用の多様化に向けた取り組み」

- ①鉄スクラップ業における人手不足の中、若手を含めた人材確保に努めるとともに高齢者雇用の促進を図る等、雇用の多様化に目を向けた活動を行います。
【本部他】
- ②次世代を担う若手の人材育成を目的とし知見を広げる活動である「新発見セミナー21」に関し、業界のトレンド等も考慮に入れ、時代のニーズに合致した有益なセミナーとなるよう、企画・検討してまいります。
【広報委員会】

(9)「鉄スクラップの需給関連データの収集、分析」

資源・環境を巡る内外情勢を迅速かつ的確に捉えるため、調査分析、情報収集に努めます。このうち鉄スクラップ需給の関係では、市場調査を主要事業とする（一社）日本鉄源協会と緊密な連携・協力を図ることとします。
【本部他】

Ⅲ. 鉄スクラップの国内循環促進についての行政や内外の関連団体との議論・協議

(1)「国内の関係機関、鉄鋼関連団体との意見交換の推進」

鉄スクラップ業のカーボンニュートラルに向けた今後の対応策や不適正ヤード事業者の法令遵守等に関し、経済産業省金属課や普通鋼電炉工業会との意見交換に加え、経産省に発足した「サーキュラーパートナーズ」への対応等に関し日本鉄鋼連盟とも連携を密に行うとともに、他の鉄鋼業界関連団体とも意見交換が可能となるよう働きかけを行うこととします。
【本部他】

(2)「諸外国のカーボンニュートラルに向けた動向の情報収集」

諸外国の関係団体との相互交流を深め、欧米やアジアにおける幅広い人的ネットワークを通じて、諸外国のカーボンニュートラルの動向等に関する情報収集を行います。

また、国際会議等の場で日本の優れた鉄リサイクルシステムや技術を引き続き発信していくことにより、日本の鉄リサイクル業のプレゼンスの向上を図ります。 【本部他】

IV. 鉄リサイクル業の社会的認知度向上に向けた各種情報発信

(1)「内外に向けた情報発信の強化:工業会ホームページの更なる充実化等に向けた取り組み」

工業会の本部、各支部、各委員会が実施する各種事業活動等に関し、2023年度に引き続き会長記者会見を開催するなど、内外に向けた発信強化を図り、工業会活動の積極的なPRに努めます。

また、工業会ホームページについては、内外に向けた有益な情報、タイムリーな情報の掲載と更なる充実化に努めるとともにレイアウト等の一部リニューアルにより、利便性を高め、多くの方々に閲覧していただけるページ制作を行います。加えて、情報の周知徹底を図るべくホームページ更新情報や工業会本部発信の情報を会員宛にタイムリーに周知するメールシステムの導入を検討します。 【広報委員会・本部】

(2)「機関誌の更なる充実化に向けた取り組み」

工業会の活動報告、業界事業の紹介や各地のトピックス等を掲載する機関誌『鉄リサイクルニュース』を発行します。掲載記事については広く投稿を呼び掛け、紙面の充実化を図ります。 【広報委員会・本部】

(3)「鉄スクラップの環境価値 CO₂ マイナス 1.39トンのPRの継続」

広報委員会と環境委員会が2022年度より共同で進めてきた「鉄スクラップの環境価値：CO₂ マイナス 1.39 トン削減」のPR、対外発信を今年度も積極的に取り組んで参ります。具体的には2023年度に制作した動画をベースに、各種媒体等の発信ツールを活用した効果的なPR活動を展開いたします。 【広報委員会・本部】

以 上